



26号 令和5年3月

介護医療院 はなまる ☎66-7701 (直通)

弥生三月 プラス気温になる日も増え雪解けが始まり希望の春はすぐそこです。

待望の直接対面の面会が3月1日より再開されました。

完全予約制で、まだ制約がありご協力をお願いしています。

地域医療連携室までお問い合わせください。



直接対面面会

- 三年振りの涙の再会をされました。この間に百歳のお誕生日を迎えられました。ご家族様は、体中をなで回して再会を喜び合いました。
- 直前まで寝ていた方も、しっかり覚醒し誰だか認識され発語もありました。家族の愛情の力を感じ感激の光景でした。
- 二日後に娘さんに会えて良かったですねと声を掛けると、「嬉しかった、又来てくれる」 明るい満たされた表情でした。



リハビリ

リハビリは一階の広いリハビリ室で色々な機器を利用して身体を動かす事が出来るように準備を進めています。

何より気持ちの切り替えが出来、やる気が違うと思います。



ひな祭り



オーバートーブルにお雛様を乗せてお部屋を巡回しました。

顔が一瞬にしてほころびます。「周りがパーッと華やいで明るくなるね」「何処で買ったの、いくら」

「可愛い、立派だね、綺麗だね」「三人官女までしかなくて、その下は自分の普段遊んでいるお人形を集めて飾っていたよ」「自分のお雛様が無かったから嬉しい。抱いて寝たいな」「お赤飯を作って、餅に色を付けて斜めに切って菱餅を作ったよ。やっというて良かった、子どもにしてあげられて良かった」男性の方「家内に立派な物は買えないけれど小さなお雛様を買ってあげます」皆さん、お雛様の思い出を沢山お話してくれました。そして、「又、来年来てね」

幼い頃の自分、母親の自分、今、夫である自分

それぞれの雛祭りは皆の心を桃色に染めます。

私も三年前に他界した夫に砂糖菓子で作ったお内裏様と、お姫様を飾った菱形のケーキをプレゼントされて嬉しかったことを思い出しています。



はなまる新聞

コロナが流行し始めた中での介護医療院はなまる開設で、ご家族様に公開する事が叶わず少しでも様子をお伝えしたくてはなまる新聞を発行致しました。

一方通行の拙い文章に長い間お付き合い頂きまして、本当にありがとうございます。

次号から書き手が代わります。引き続き宜しくお願い致します。

